

# 大腸憩室出血の重症化及び再出血の危険因子についての研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

**研究期間：2019年7月18日～2020年3月31日**

**〔研究課題〕** 大腸憩室出血患者における重症化及び再出血リスクの検討

**〔研究目的〕** わが国では大腸憩室の増加に伴い憩室からの出血の患者さんも増加傾向です。その原因の一つとして人口の高齢化などが挙げられ、時に重篤化することもあります。また一度出血が止まっても再出血することが多いのがこの病気の特徴ですが、どういう場合に重症になるのか、再出血するのかわかっていません。本研究の目的は当施設における憩室出血の重症化及び再出血に関与する因子を明らかにすることです。

**〔研究意義〕** 本研究によって大腸経出血患者の重症化及び再出血リスク因子を明らかにすることにより、重症化や再出血を予想し予防することが期待できます。

**〔対象・研究方法〕** 医療記録（カルテ）から、2004年1月～2018年12月までに、当院内科に入院となった全大腸憩室出血患者さんを対象として、行った処置（内視鏡的止血術や血管塞栓術など）とその結果（止血の可否）、輸血の有無、再出血の有無を調査します。また背景因子（年齢、性別、基礎疾患、併存疾患、併用薬、疾患の部位など）も併せて調査します。

**〔研究機関名〕** 帝京大学医学部内科学講座消化管研究室 教授 山本貴嗣

**〔個人情報の取り扱い〕**個人が特定され得る記録については暗号化し、学内の規定（プライバシーポリシー）に従って、学内の施設可能な場所に保管します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

**問 い 合 わ せ 先**

研究責任者：帝京大学医学部内科学講座消化管研究室 教授 山本貴嗣 ymmt@med.teikyo-u.ac.jp

研究分担者：帝京大学医学部内科学講座消化管研究室

准教授 小田島慎也、講師 阿部浩一郎、大学院生 丸山喬平

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL：03-3964-1211(代表) 〔内線 7030〕